

第 1 回代表者会議 議事録

2012 年 6 月 17 日 (日) あしすと春日部 講習室

出席クラブ (順不動)

緑、粕壁、武里、八木崎、小湊、幸松、立野、上沖、豊野 計 17 名

事務局：金田、栗原、山岸、百戸、土井

進行：金田

記録：栗原

1) 設備に関するアンケート調査結果報告 (事務局)

埼玉県の「放課後児童クラブ設置運営基準」に明記されている設備について調査。しかしながら、洗濯機、物置、テレビ・ビデオ (DVD) など、市が準備していないものが多数。実質的に必要なため父母会で購入などしている実態が明らか。運営基準に合わせる方向に努力してもらう様、市に願っていただく必要。

※設備に関するアンケート結果 参照

2) 各クラブより状況報告

(豊野) 指導員が欠員 (指導員 1 人とパート 1 人)。

モニターがあるがテレビが映らない (藤塚は映る)。

未だ洗濯機が無い (置き場が無い)。物置も老朽化している。

(立野) パート指導員欠員。予備の人員を確保して欲しい。

7 月から土曜日は八木崎と合同保育になるという事で不安が広がる。

(上沖) 指導員が病欠。2 クラブで融通し合って今は何とかなっている。

設備的には恵まれていると思う。

(粕壁) 設備は比較的恵まれている。

父母会代表が決まらず、本来代表 2 名のはずだったが 1 名になってしまった。

副代表もいないので負担が心配。

(緑) 会長 2 名、副会長 2 名。連絡会係を設置。2 か月に 1 回定例会を実施。

女子トイレの便座故障、給湯器の故障を早急に何とかして欲しい。

指導員 3 人中 1 人が欠員。要支援児が 3 人いて更に手が足りない。

月 1 回合同保育のため牛島クラブへ。今までは常に緑での保育だったが月 1 で牛島に変更。

送迎の手間も増える (仕事を休むしかない)。

(八木崎) 定員 90 名で高学年が不許可。学校の規模に対して定員が少なすぎる。

父母会は 86 世帯。会長 1 人、副会長 4 人、連絡会係 5 人。

人数に対してテレビが小さすぎる。緊急時のためテレビ受信が必要。

雨天時にひさしが無いので出入り口で濡れてしまう。

保育時間延長の要望あり (夏休みの朝と平日夕方)。

(武里) 2 月に指導員が欠員になり、非常勤が補充されたが 4 月からまた異動になって欠員状態。

物置が老朽化して困っている。

クラブが学校外なので移動と監視に余計人手が必要。

(幸松) 設備はそれほど困っていない。

会長 2 名、副会長 6 名、連絡会係設置。

年度末に指導員が退職したが今は補充されている。

洗濯機が壊れかけている。

(小湊) 52 世帯。2 教室で余裕はある。

会長 2 名、副会長 2 名。役員全部で 18 名。

1 年生は役員無し。2 年生は全員がやる。指導員が声をかけて決める。

会計は前任者がアドバイザーとなって助ける。

洗濯機無し。学区が広いので車での送迎が必須。

駐車スペースは広いので今のところ問題無し。

(立野) 指導員が個人的にコンタクトして役員決めに干渉するのは難しいのでは？

(豊野) 指導員のいる年数や父母会との関係によると思う。

昔からの指導員と社協になってから採用の指導員とで考え方が大きく違う。

(事務局) それは社協の管理手法によるもの。

良い保育をしてもらうためには、父母が社協の方針にも目を光らせていく必要がある。

(事務局) 例えば、社協が実施している指導員研修は、安全や救急救命講習などを除けば指導員会が講師を選んで実施している。つまり指導員自身の企画によるもの。

保育の質を上げるためには外部研修への参加が欠かせないが、現在の社協のルールは「年 1 回までは出張扱いを認める」というもの。自主的に多くの研修を受けたい指導員は自腹で参加するしかない。指導員が勉強しやすい環境を整え、保育の質を上げていく必要がある。

(事務局) 来年度で社協への指定期間が終了。来年 6 月頃には次の指定先を選定する準備が始まるはず。5 年前、旧庄和地区のクラブについて一般公募も行われており、父母も注視していく必要がある。

2) 全国研への参加方法について (事務局)

今年 10 月 6 (土) 7 (日) の 2 日間にわたり、全国学童保育研究集会 (全国研) が開催される。埼玉県での開催は 18 年ぶり。全国から約 6000 人の学童保育関係者が集まり、学び、交流し、励まし合う事ができる一大イベント。父母、指導員、更には行政担当者にもぜひ参加して欲しい。

連絡会加盟クラブの父母の参加費 (3500 円) は連絡会が全額補助する。事前申し込みは 8 月 31 日まで。それ以降も個別申し込みにより参加可能 (その場合参加費補助は領収証と引き換え)。

別紙容量を参考に、ぜひ多くの父母の参加を。

また、全国研にできるだけ多くの指導員が参加できるよう、協力をお願いしたい。

※過去の全国研参加報告 (事務局石井、土井)

以上